

こうちこどもファンド「久重naturalチーム」

助成決定!

「久重の里山の魅力 再発見プロジェクト」① ～子どもで持続可能なまちづくり～



令和4年度公開審査会での発表の様子 (6/19)

今年度は、3年間の継続した活動計画を立てました。(→右) 大きな取組は久重地域での防災活動です。災害時、道が寸断され久重地域は孤立するかもしれません。そんな時、地域みんなで力を合わせて楽しく乗り越えたい…それが子どもたちの願いです。

これまで感じてきた久重の魅力をさらに再発見し住みやすい里山の暮らしを子ども目線で発信していきたいです。地域で取組んでいるオレンジポストや「だれ一人のこさない」思いを地域の方と一しょに策定会議で考えています。今年度もよろしくお祈りします。

3年間の活動計画

- ◆1年目 (体験・知る)
 - ・防災ミニキャンプ
 - ・防災食として山野草を活用
 - ・地域の防災旅行に参加
 - ・ロープワーク体験
 - ・簡易トイレの使い方を体験する
 - ・防災ウォークラリー
- ◆2年目 (深める)
 - ・山野草の保存
 - ・防災グッズの提案
 - ・避難所開設訓練や炊き出し訓練に参加
- ◆3年目 (地域と共に)
 - ・避難所開設訓練に参加
 - ・炊き出し訓練で山野草を使った防災食体験

○今年度は策定会議に参画し、久重の5年後について地域の方と一しょに話そう。

『久重のまちづくり計画』(今年度地域が作成予定)の冊子を今後の活動に活用する

困った運転の数々・・・

バス利用者の声を行政、事業者に



私たちの唯一の公共交通である「とさでん交通(北部交通)」鏡・土佐山線が日・祝はデマンドタクシーにかかわることになりました。地域の声が、土曜日の便を継続することへの大きな成果につながっています。

話を聞いていると…乗務員の対応への声が上がってきました。よく声をかけてくれる運転手さんは大変人気で、仲よくなった♡優しく話してくれて安心(^o^)動き出すときは「出発します」とマイクで言ってくれる★ミラーで座ったか確認してくれる!ちゃんとバス停の所で停まってくれる!の声もありました。

ところが、困っている場面もあり…(-_-;)

- ・乗車後、入口のステップで、ですか操作をしている時に、ドアを閉められカバンがはさまりそうになり怖い。そんなことはよくある。
- ・乗車後、座ろうとして車内の通路にいるときに発車され、倒れかけた。
- ・バスの停留所で待っていた人が、置いて行かれそうになって、大声で叫んでいた。
- ・置いて行かれそう。発車時刻より前に発車されたことがある。
- ・下車時、降りた瞬間ドアが閉まりすぐに出発するため、はさまりそうで怖い。

学生を中心に不快な思いをしている人が何人もいました。

◎困っている人も、困っている人を見た人も声をあげづらいと思います。そんなときは「オレンジポスト」に手紙を書いて出してください。つらい人ががまんをせず、安心安全な対応をしていただけるように地域で話合っていきたいと思います。昨年度に引き続き、6月にも利用者の声を高知陸運支局に伝えています。

夕涼み会

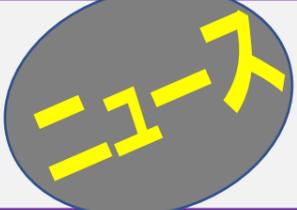
今年も残念ながら、久重里山まつりの開催は断念されました。子ども達も大人も「今年こそ!」と楽しみにしていたのでとても残念です。保育園では「夏祭り」という催し物を知らない子どももいます。

子ども達に楽しい夏の思い出を作りたい! その思いから、久重保育園保護者会と久重小学校PTAが連携し、代替案として「夕涼み会」の開催が7/15(金)に決定しました。感染症対策として、『検温・手指消毒の徹底・飲食はしないこと・1時間程度の催しとすること・参加対象者は久重保育園園児と久重小学校児童、及び地区外に通園・通学する小学生以下の兄弟児』をルールとしています。こぢんまりとしたお祭りですが園児の可愛らしい踊りと、ワクワクドキドキの出店など、楽しいひと時を過ごすことができたら…と準備に張りかっています!



【編集後記】よさこいができて何故、里山まつりができんのか…協議会役員としては未だに府に落ちません。しかし、家庭に戻り家族を守る立場からすると、子ども達の笑顔を守る為にはこの判断は正しかったのだと感じます。夏が過ぎると、すぐに久重豊稈祭について協議が行われます。地域の皆さんがためらいなく集まれるような環境になっている事を願います。(ひろっちゃん)

久重地域連携協議会



—第39号—
2022.6.25 発行
発行責任者: 林照男
編集: 広報委員会
高知市重倉 1596-134
電話: 090-4501-3190



梅雨の晴れ間 久礼野 (撮影: 山本寛子広報委員)

7月24日に予定していた第22回久重里山まつりは中止とします。

※代わりに保護者会とPTAが夕涼み会を計画しています!
■日 時 7月15日(金) 18時より1時間程度
■場 所 久重小学校グラウンド
=4面に掲載=

第7回 久重のまちづくり計画 策定会議

日時 7月16日(土) 18時~20時
会場 久重小体育館

※計画策定も終盤に入ってきています。これからの参加も大歓迎! どうぞお越し下さい。

ほおつちよけんの意識で支え合い

年齢を重ねるとともに一人できなくなることが増え、車に乗れなくなったらもうここには住めない、と不安を感じながら暮らしている方が少なくないことがわかりました。たくさんのお困りごとを大人も子どもも「ほおつちよけん」の意識で支え合い、日頃の付き合い方を改善しつつ生活支援ボランティアを幅広く作っていくことの大切さが浮き彫りになりました。左は出されたお困りごとの数々。

- 生活一般の困難
 - 井戸・排水管のお世話
 - 薬がちゃんと飲めているか
 - 鍵をかけて寝ているか
 - 雨の日に傘をさして歩くのが怖い
 - 畑の手入れ
 - 草刈り、庭木の剪定
 - ひとりで歩くのが不安
 - トイレの掃除
 - 班の地域活動が参加しづらくなる
 - 食事の用意ができない(長時間の立ち仕事が無理)
 - 相談窓口がわからない
 - スマホ・携帯操作が難しい
 - 言葉への抵抗(例:デマンドハイヤー)



地域共生社会について学び、身近なちょっとしたお困りごとを出し合い、どう支え合いながら解決していくかを話し合った第6回策定会議。55人(うち16人は小中高高校生)が久重小体育館へ集まった。

- 高い場所の作業の困難
 - 屋根の上の草木の処理
 - 電球の交換に困る
 - エアコンの掃除ができない
 - 力のいる作業の困難
 - 布団の交換や布団干し
 - 家の掃除(家具の下)
 - 洗濯機の中身が取れない
 - ゴミ出しや分別が無理
 - 不燃物の収集場所が遠い
 - バイクを止めるのが困難
 - 爪が切れない
 - 家具やストローブの移動が困難
 - カーペットを敷けない
 - 灯油タンクのフタが開かない
 - 車がないと買い物荷物が重い(お米・飲み物を買えない)
- 移動の困難
 - 病院にどうやっていくか
 - 食べ物を買に行けない
 - 車に乗れなくなると移動手段に困る
 - 付き合いや人間関係の困難
 - 相談しづらい、頼みにくい
 - 親が一つ一つ頼みごとをしてくる
 - 友達がいらない
 - 空き家の手入れなど介入しづらい
 - 助けてと言いたいがプライドがあるから言えない
 - 断られたら恥ずかしいので、助けを求めることができない



小中高生も熱心に討論

こんなお困りごと

感じていませんか？

久重地域連携協議会は、誰もが安心して住み続けることのできる支え合いの地域づくりをめざして、「久重型共生社会」の推進に取り組んでいます。6月18日には第6回まちづくり計画策定会議を行い、住民が感じている「身近なお困りごと」を出し合い、それを解決するための日頃からの行動や解決の方法について話し合い、子どもたちも困りごとをキャッチする方法や自分たちができることを熱心に討論しました。たくさんの方の発表があり、その主なものを紙面に掲載しました。連携協議会は、この討論を踏まえ、さらに住民の皆さんからお困りごとを集め、それらを解決し安心して住み続けることのできる地域づくりの取り組みを進めていきたいと考えています。

- 一緒に行動する
 - 散歩、買い物、食事、ゲーム
 - 行きたいところまでできる
 - ところまでつきそう
 - 悩みを聴く
 - はげます
 - 手伝い、ボランティア
 - 料理、掃除、草刈り
 - 家周辺の掃除(草抜き等)
 - 物置やペットのなどの掃除
 - 世話
 - 電球交換
 - ゴミ出し
 - 重い荷物とか持ってあげる
 - 体力の必要なこと
 - 困っていることは何でも手伝う!
 - 防災活動
 - 災害が来たとき逃げる場所を決める
 - 家具の固定をしてあげる
 - 一緒に防災について話す
 - 一緒に防災についてのゲームをする
 - 地震や火災時(特に目や足に障害がある人)一緒に逃げる

お困りごとを地域でキャッチするには!

- オレンジポスト
- 近所の人との会話
- 大人用のアンパンマンステッカー(久重バージョン)
- 大人一〇番への表示
- 見守り隊(普段の困りごとを聞きにいつてあげると言えるのかも)
- 積極的に訪問して聞いてあげる
- 民生委員さんとの連携

お困りごとを地域で解決するためには!

- 人付き合い(言い合うこと)ができる関係が大切)
- あいさつから始めて、顔が見える関係を作る
- 地域のあいさつ運動から
- 隣近所の付き合いを深めていき、「助けて」が言える関係性を築く
- 老若男女、子どもも参加した生活ボランティアの存在
- 無料の送迎タクシー
- 移動支援が必要
- 地域にデイサービスがあったらいい(専門学校と連携)
- 集いの場がほしい
- 困りごとをラインで共有

子どもたちも「自分たちができること」を真剣に討論

困っている人に、自分たちならこんなことができなかつ

困りごとをキャッチする方法

実行するため「大切なこと」

- 聞く活動
 - 挨拶代わりに訪問する
 - 挨拶するとき、悩みを聴く
 - 元気ですか!と聞く
 - 何をしたらいいか聞く
 - 困っていないか聞く
 - 家から出られない人もいるかも:自分から聞きに行く
 - 持てない物がなくか聞く
 - ゴミを出せているか聞く
 - 贈り物をしてそのとき聞く
 - 本人からの発信
 - 「困ってますカード」を作った、困ったら玄関にかける
 - ボタンを押したら隣の家に「助けて」を伝える工夫(ブルトウース)
 - 旗で合図(黄色:急いでないけどちょっと寄ってみて・声かけ、赤色:急いでいる・助けて)
 - 表を作って、困ってなかったら丸をもらおう
 - その他の方法
 - 「困っている人いませんか」をポスターで
 - 子ども相談窓口をつくる
 - 困りごとを解決出来るセンターのチラシを配る
 - メール、ライン、電話、口で言う!

- あいさつ、声掛け
 - 会ったときに自分から挨拶をして仲良くなる
 - 高齢者のよく話すことを収集する
 - 特技を教えてもらって仲良くなる
 - イベント等で話しする場所をつくる
 - 「仲良し会」をやって親しくなる
 - 百歳体操と一緒にやってみる
 - 仲良くなる
 - 手伝いしましょうか?と声をかける
 - ゴミ出し、掃除
 - ゴミ出しの時一緒にゴミを持って楽しく話しながら行く
 - 好きなお菓子を食べながらゴミ出し
 - 遊びながらゴミ出し
 - 誕生日プレゼントをする
 - 一緒に掃除をする
 - 子どもファン活動
 - イベントで九宝茶をふるまって仲良くなる
 - 「メンマ」とか子どもファンで作った物を配って一緒に食べる



6月(15日まで)のオレンジポスト投稿は、地域公共交通再編計画に関する質問一件だけでした。市交通戦略課に確認の上、次のとおり回答します。

身近なちょっとしたお困りごとをオレンジポストに投稿してみませんか!
 ※支え合いの久重づくりは、まずお困りごとをみんなの共有にすることから...皆さんの困っていることをこのメモ用紙に書いてオレンジポストに投稿してみませんか。待っています。

